

年	組	名前
---	---	----

県と市町村

ロケ誘致へ連携

景勝地など情報発信

県と市町村が力を合わせて県内に映画やテレビドラマのロケを誘致しようと、県ロケツーリズム推進協議会が17日、設立された。制作会社からの問い合わせ窓口となり、ワンストップで対応。全国的に誘致合戦が激化する中、スムーズな情報提供などきめ細かな協力体制で、ロケの「メッカ」を目指す。観光客向けにロケ地巡りなどの情報を発信し、ロケツーリズムも加速させる。

県内へのロケ誘致は、市光・地域振興課が事務局と町村や民間団体が独自に展開してきた。映画では大分市が誘致した「綱引いちゃった」(2012年)、宇佐市の「カラアゲ☆USA」(14年)など実績を挙げているが、単独では制作会社の要求に応えられない場合もあり、ネックになってきた。

協議会は県、18市町村、民間3団体で組織し、県観光課、市町村の誘致活動と連携。制作会社から問い合わせがあれば、ニーズに応じて県全域から海や山、古い街並みなど適地を見つけ紹介する。

県内のロケ候補地を集めた専用ホームページ(HIP)を開設。各市町村から寄せられた景勝地や名所などの候補地の写真を掲載する。HIPを通じてエキストラの募集もする。名場面のロケ地などを巡るロケツーリズムの気は高まっており、観光振興への期待は大きい。NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」が14年に放映された際は、舞台となった中津市の黒田官兵衛記念館に年間30万人以上が訪れるなど、大きな経済効果があった。

協議会はロケ専門雑誌などに記事掲載を働き掛けた

りして、映画ファンや観光客へのPRを図る。大分の



宇佐市を舞台にした映画「カラアゲ☆USA」のロケ風景。大分の食材や文化をテーマにした作品誘致にも力を入れる

歴史や文化、食を題材にした作品の誘致もして、県観光の知名度アップを狙う。大分市内で設立総会があり、市町村や民間団体から約100人が出席。会長に就いた阿部邦和県観光・地域局長が「協議会設立を機に、大分のロケツーリズムを飛躍させたい」と話した。

(2015年6月18日朝刊25面)

大分県と市町村が力を合わせて県内に映画やテレビドラマのロケを誘致しようと、県ロケツーリズム推進協議会が設立されました。

①「ロケツーリズム」とは何でしょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

③校区内にロケを呼ぶとしたら、どこに、どんな映画を誘致しますか。考えてみよう。

.....

.....

.....

.....

②ロケを誘致すると、どんな効果がありますか。